

# natusobiku journal

Month 01

January 2019

Curtain, Rug, Cushion, Lighting,  
Apron, Bedlinen, and more...  
all natural. feel cozy life!

「natusobiku journal」は日々の活動内容や想い、心地よい暮らしづくりのためのヒントをパートナーの皆様へお伝えするための情報誌です。

## Featured this month

千葉県佐倉市  
グランディアホーム様  
モデルハウス



ユラギ01 フラットスタイル / アメツチ09 ブランケット



レースのシングルシェードで開放的な明るいベッドルーム



LDK小窓にはフォグ03 淡水のリラックススタイル

近年では自然素材住宅はひとつのトレンドとして扱われ、住まいづくりの要素として広く目に付くようになりました。そんな中で長年「本物の無垢材・自然素材」だけを使用する事を追求してきた造り手が手がける暮らしの新提案。布の素材とカラーにもこだわります。

敷地面積は小さくても広々とした居室空間。明るくて開放的な家族と集まるリビングに麻のレースカーテン一枚吊り。植栽を工夫することで外の目線も気になりません。子育て世代の為のアイデアが随所に盛り込まれた等身大の暮らしが映ります。

## MONTHLY CONTENTS

## 伝えたいこと



## ■ 麻の裂き織り製作の様子

natusobikuはこの度、2月12日～15日に東京ビッグサイトで開催される国際見本市「東京ギフト・ショー」に出展をいたします。麻のカーテンと組み合わせるタッセルやアクセサリ、キッチンで活躍するファブリック製品をご提案します。福祉施設での物作りや環境に配慮した自然素材を扱うというコンセプトが集まるブース「エシカル・スタイルショー」に参加しています。麻のカーテンを作る際に発生する小さな残布を活用し「裂き織り」を施した素朴なコースターとカフェマットも発表します。natusobikuがデザイン企画を行い、



製作をしました。裂き織りは布を裂いてできた細長い布を緯糸として用いた、エコな織物です。不揃いな独特の布の表情が心温まり、暮らしに彩りを与えてくれます。日本

の暮らしに寄り添う懐かしさを感じるキッチンアイテムは、上質な麻の布を余すところなく活用しています。先日も福祉施設での製作の様子を伺いながら打合せを



してきました。施設の利用者の方は本当に生き生きとした笑顔で一生懸命に作業に取り組んで下さいます。ギフトショーで皆様も是非お手に取ってご覧ください。



## ■ Wood ring タッセルの使用事例

表面にてご紹介した新築モデル棟では natusobiku の麻のカーテンと合わせ、以前よりご案内しております新作のマグネットタッセル「ウッドリング」を早速、活用して頂いております。房掛け金具の取付けが不要で自由自在なスタイリングができるマグネットタイプのリングタッセルは、見た目もシンプル。上質な天然木を切り出しオイル仕上げをしているため、美しい木目の表情が生きています。このアイテムも来月の展示会でご覧いただけます。店頭サンプルのご依頼も多くいただいております。使用感や印象など感想是非お聞かせください。皆様の声を開発に生かして参ります。



## Information

本誌「夏そびくジャーナル」のバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.natusobiku.jp/journal>

お客様への納品写真をいただけるショップ様を募集しております。当社 HPにてご紹介させていただきます。

<http://www.natusobiku.jp/works>

真にアートから学ばなければならないのは、その作品の意図や歴史といった「言葉で説明できるもの」ではない。では、私たちは芸術に対して、どう相対するべきなのか？私は「自分の感性を信じる」訓練こそが、一番重要なことだと思っている。

—NewsPicks エディター 最所あさみさんのことば

Cotowari Design Inc. 千葉県千葉市緑区誉田町1-297-3

tel: 043(310)7975 fax: 043(310)7976 mail: info@cotowari-design.com

■事業内容 天然繊維のファブリック企画・製作・販売 / インテリアコーディネート/テキスタイル・広告デザイン制作